

提 案 概 要

(新門司地区スポーツ施設 指定管理者)

団体名：特定非営利活動法人北九州フットボールクラブ

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市スポーツ振興計画骨子案」と本クラブの活動目的が一致しており、これに基づいた管理運営⇒結果として施設の管理運営に資することとなる ・地域の公共財産であるギラヴァンツ北九州を最高の練習環境でバックアップしていくことが、最終的に地域の活性化につながる
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<ul style="list-style-type: none"> ・本クラブの理事長、副理事長、事務局長（施設長）はそのキャリアの中で、長年にわたって地域のスポーツ振興に多大な貢献をしてきた ・本クラブは NPO 法人として収益活動を目的とせず活動してきたが、安定した経営を続けている⇒ギラヴァンツの後方支援とボランティアの貢献
(3) 実績や経験など
<ul style="list-style-type: none"> ・本城公園スポーツ施設（H19～21）を3年間、新門司スポーツ施設（H16～現在）を20年間指定管理の実績（庭球場夜間開放、天然芝オーバーシード実施⇒市内初） ・ギラヴァンツ北九州の毎日の練習場という他のスポーツ施設と異なる特殊な環境の中での管理運営となり、非常に難しい利用調整を支障なく行ってきた

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
<p>本クラブの活動方針（理念）と市のスポーツ推進計画が基本的に一致することから、これまで当施設で実施してきたことを今後も継続し、更に利便性を高めるとともに様々な営業・広報活動を通じて、集客を増やしていくことで施設の設置目的を達成する</p> <p>また、コロナ禍で減少した施設利用者が漸次増加していく中で、利用者からの要望や苦情に真摯に耳を傾け、施設の設備環境や接客マナーなどを初心に返って改善していく</p>
(2) 利用者の満足度
<p>コロナ禍で減少した施設利用者が漸次増加していく中で、利用者からの要望や苦情に真摯に耳を傾けながら、施設の設備環境に常に目を配り、さら職員の接客マナーを初心に返って改善していくことが、最終的に利用者の満足度を上げることとなる</p>

【効率性】に関する取組み	
(1) 指定管理料及び収入	
<ul style="list-style-type: none"> ・当施設の指定管理業務にかかる費用の中で、球技場天然芝の維持管理業務が占める割合は、過去5年間の平均で42%を占める ・施設の使用料収入は520万以上を目標⇒平日の夕方の利用促進（高校サッカー部） ・施設を活用した自主事業の収入の全額を市に納付し、指定管理業務に充当 ・提案として、広告看板の設置案⇒収入の全額を施設の維持管理費として市に収める 	
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の収支計画を基にして、人件費の年度上昇率7.57%、物価上昇率4.02%を考慮しながら来年度の維持管理費・人件費・その他経費を計算し、その合計を提案額とする 但し、球技場天然芝維持管理費については、本来の2面分の管理費用に加えて市が指定管理費以外に追加支出した額も念頭に入れて計算している <p style="text-align: center;">最終的な提案額は54,821,000円</p>	
【適正性】に関する取組み	
(1) 管理運営体制など	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営業務は施設長が統括し、重大な案件については理事長を中心とした本クラブ理事会が最終的に意思決定をする ・各スタッフが各々の能力を発揮できるように適材適所に配置 ・各人の資質や能力を高めるために各種の研修会に参加及び職員会議を実施して意見交換 	
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	
<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティが必要な個人情報が多くあり、これを厳重に管理 ・利用者の平等利用を図るために原則厳守の姿勢を堅持しつつ、例外として公益性及びユニバーサルデザイン化の観点から判断 ・日常の事故防止及び防犯・防災対策としてこれまで同様の厳格な管理体制で臨む 	
(3) 地域貢献・社会貢献	
<ul style="list-style-type: none"> ・当施設では高齢者及び障害者を積極的に雇用⇒今後も年齢・性別・障害有無にとらわれず ・社会貢献としてSDGsカップ高校サッカー大会協力、プルタブ収集ボランティア活動の実施 ・地域貢献として高齢者のソフトテニスグループの活動を支援 ・市民の雇用拡大に資するためにシルバー人材センターを活用予定（除草作業等） 	

提案額（千円）

令和7年度	54,821千円
令和8年度	54,821千円
令和9年度	54,821千円
令和10年度	54,821千円
令和11年度	54,821千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください

提 案 概 要

(新門司地区スポーツ施設 指定管理者)

団体名：スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>■新門司地区スポーツ施設の設置目的や施設の在り方、市の基本方針等の施策を考察・理解したうえで、次の運営理念と基本方針を策定し、管理運営に努めてまいります。</p> <p><運営理念>「だれでも・いつでも・いつまでも」～まずは楽しもう！つながる「こころ」と「からだ」～</p> <p><基本方針> 1. 安心・安全な施設運営 2. 公平性の確保と平等利用 3. サービスおよび集客の向上 4. 環境に配慮した施設運営 5. 社会貢献と地域との連携</p>
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <p>■当団体代表企業は、昭和 58 年の設立以来、緑化建設事業とビルメンテナンス事業を中心に事業展開しており、これまでの公共施設の植栽維持管理、清掃、警備、設備管理等の実績による経験やノウハウはもちろん各種有資格者などの優秀な人材も有しているため、万全な体制での総合的な管理運営が実現できます。</p> <p>■ISO9001 の認証を取得しており、顧客満足向上と品質マネジメントの継続的改善への取り組みを日常的に行なっているため、当施設の管理運営についても品質向上に向けた本格的な実践が可能です。また、エコアクション 21 の認定も取得しているため、低炭素社会への取り組みと同時に、ムダなエネルギー削減といった提案や取り組みも可能です。</p> <p>■当団体構成企業の代表者である赤星拓は、平成 19 年から平成 30 年まで 12 年間 J リーグ『サガン鳥栖』に在籍した元プロサッカー選手で、現役引退後は、スポーツの価値を最大限に活かし、地域の活性化やスポーツ環境の向上を目指すべく、スポーツを通じて日本から世界へ、次代の日本を支える人材と環境を育てることを使命としております。人材育成、教育、スポーツ環境の普及を軸とした活動を行っているため、様々なプログラムを実施することが可能です。</p>
<p>(3) 実績や経験など</p> <p>■当団体代表企業は、指定管理業務として、アドベンチャープール、県営中央公園、北九州パレス、グリーンパーク、勝山公園・あさの汐風公園、小倉城・小倉城庭園・しろテラス、門司港レトロ観光 9 施設の受託実績があり、特に福岡県営中央公園においては、これまでに 4 度の A 評価、門司港レトロ観光 9 施設においては昨年の指定管理期間 1 年目に B 評価を頂きました。</p> <p>■当団体構成企業は、佐賀県で 19 年目を迎えるフットサル場（コート 2 面）の管理運営のブランディングを行っています。地域住民のコート利用から、自主開催となる社会人向け・企業様向けのフットサルリーグ・フットサル大会の開催、個人参加型フットサルスクール・各種スクールを開催しており、年間 2 万人以上のご利用があります。スポーツ施設を継続的に利用してもらうノウハウを持っており、魅力的なデザインや情報発信と知名度を活用し、当施設の賑わい創出を図っていきます。</p>

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <p>■施設の設置目的の達成に向け、「公の代行者」であることを常に念頭に置くとともに、最も重視すべきである「安全体制の確立」に努め、「安全と安心=真の快適」という最大のサービスの提供と、事故の未然防止、再発防止に取り組めます。</p> <p>■地方自治法に規定された「住民の平等利用の確保と差別取り扱いの禁止」に従い、すべてのご利用者に平等で公平な管理運営をします。またあらゆる方に気軽に施設を利用いただけるよう、ユニバーサルデザイン視点での配慮も行います。</p> <p>■利用者のニーズやウォンツ、不満点を掴み把握することで、反映・改善する取組みを行うとともに、広報活動やPR活動を強化することで、利用促進と集客力アップに繋がります。</p> <p>■施設の立地場所の課題等の解決に向けた、イベントや教室、ニュースポーツ体験や大会・試合など魅力的なプログラムを開催することで、集客アップにつなげます。また、キャッシュレスサービスの導入など、利便性とサービス向上に向けた取組みを行なって参ります。</p> <p>■「5R」をスローガンに、スタッフが日常から環境への関心を持ち、ゴミの適正分別、環境保全や節電・節水等の省エネを意識した行動を徹底します。</p> <p>■地元雇用促進や高齢者や障がいのある方の雇用機会創出に努めるとともに、「ノーマライゼーション」の社会づくりにも貢献します。</p> <p>■サッカー、ラグビーの関連する団体はもちろん、市内で様々なスポーツイベント等の地域活性化事業を行なっている団体、また地元のスポーツ界を盛り上げているプロスポーツチーム等と連携し、多様なスポーツプログラムを創出することで、参加者の増加と交流のきっかけづくりに取り組めます。</p>
<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>■利用者が居心地良く快適に過ごせるよう「安全・安心・快適」を最優先に確保しつつ、「選択と集中」の観点に基づき、現状を踏まえながら、より効率的で効果的な管理運営を目指します。</p> <p>■当団体代表企業は、施設の維持管理維持管理のプロ集団であり、その知見やノウハウ、ネットワークを駆使して高品質な維持管理を実現します。</p> <p>■当団体構成企業代表者は元Jリーガーであり、天然芝フィールド、人工芝フィールドに関する知見を有しているため、利用者が安全・安心・快適にプレーに集中できる環境を提供します。</p> <p>■アンケートの実施やご意見箱の設置などにより、利用者の意見や要望を積極的に収集し、ニーズとウォンツの把握と施設管理の改善につなげます。</p> <p>■利用者からの意見はOODAループに基づき、「観察、分析・判断、意思決定、実行」を実践することで、継続的改善を図ります。</p> <p>■利用者からの苦情については、迅速かつ誠意を持って対応し、改善策と苦情の未然防止と再発防止に努めます。</p> <p>■利便性とサービス向上のため、多彩なツールでフレッシュな情報提供に取り組めます。</p> <p>■ホスピタリティ溢れる接客サービスとおもてなしの精神で、利用者にとって気持ちの良い環境づくりに取り組めます。</p>

【効率性】に関する取組み

(1) 指定管理料及び収入

■市民のサービス向上と経費の削減という、一見すると相反する要素を実現させるため、経費削減を推進する項目と、経費の充実を図る項目とを区分した収支計画を立てております。

■スタッフのマルチジョブ化（多能化）により、効率的な人件費の運用を実現します。

■光熱費の節減はもちろん、スケールメリットや集中した購買システムの活用、また相見積もりの実施など、適正かつ安価に調達することで、経費低減に努めます。

■定期的なプレスリリースの配信で利用者離れ防止・新規層獲得の効果を発揮できる体制を構築します。また、ターゲットがはっきりしているため、スポーツが好きな層への拡散効果が期待できる SNS の発信を積極的に行います。また SNS を活用したインタビューなどを行うことで、施設利用者や施設雰囲気発信でき、新規利用者も安心して施設に足を運ぶことができます。

■気軽に参加できる個人参加型スクールや社会人向けのフットサルリーグを行い、週に一度は施設を利用するスポーツライフスタイルを定着させます。

■企業協賛によるスポーツイベントを開催することで、収入の確保に繋がるとともに、備品や修繕等に充てることが可能となり、行政の負担軽減にも寄与できます。

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

■これまでの実績と経験から、堅実な収支計画を立案しており、実現性の高い予算編成となっております。

■自主事業収入においては、当団体のこれまでのイベント運営実績による指標を基に計画し、期待値などによる過度な見込みとならないよう、妥当性に配慮しております。

■支出については、収入と同様、これまでの当施設での経験と実績が指標となっており、過度・過小なものとならないよう適正かつ堅実な積算を行っております。

■経費低減の取り組みについては、初年度はできることから、施設の状況や利用特性を把握できた2年目以降は抜本的および細部の削減策を実行いたします。

■できるだけ内製化を図りますが、機械管理や定期点検等の専門的技術を必要とする業務、再委託とする方が効率的な業務などについては、業務の再委託を行いません。

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

■当団体の各社における得意分野を最大限発揮できる体制づくりに努め、施設のライフサイクルを見据えた計画、定期的なメンテナンス、プレイヤー目線による、施設の維持・改善に努め取り組みます。

■当団体の各企業から構成されるサポートチームによって、現地のバックアップを行いません。

■当施設に関わる職員全員に、「接遇研修」「救命講習」の受講を義務付け、きめ細かな心遣い、緊急時の迅速な対応、法令を遵守した対応等、様々な役割を幅広く行えるよう教育いたします。

■接遇研修の実施や、各種資格などの取得支援など、職員の資質向上に取り組みます。

■これまでの管理運営で培った、地域・学校・関係団体・関連施設などとの連携や協働をさらに強化し、様々な取り組みを行いません。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

■北九州市個人情報保護条例およびその他関係法令を遵守し、改正個人情報保護法にも対応した、プライバシーポリシーや個人情報保護規程を制定したうえで、個人情報の厳重な管理と適切な取り扱いを行ないます。

■施設の設置目的や役割を十分に認識し、誰もが気軽に施設の利用及びイベントへの参加ができるように、公共性（公益性）を確保して参ります。

■接遇等の教育研修による職員への意識啓発に努め、中立性を堅持する管理運営をいたします。

■人権啓発推進に努め、不当な差別的取り扱いのない施設運営に取り組みます。

■高齢者や障がいのある方、小さなお子様、外国人など、多様な方々への配慮に努め、誰もが利用しやすい環境づくりに努めて参ります。

■プリメンテナンス（予防保全）を徹底し、あらゆる事故の未然防止と、機械設備の長寿命化に取り組み、「安全・安心・快適」に利用できる施設づくりに努めます。

■“誰もが安心して気軽に利用できるスポーツ施設～安全管理の取組～”を参考にマニュアルを作成し、施設・設備・用器具の安全確保はもちろん、プログラムの安全確保にも努めます。

■「安全管理マニュアル」を作成し、事故発生時の迅速な対応を可能とするとともに、「災害対策マニュアル」と「災害対応マニュアル」を作成することで、災害発生時の危機管理体制の明確化と対応方法の明確化に取り組みます。

(3) 地域貢献・社会貢献

■直接間接の雇用、または業務委託に関係なく、高齢者および障害を持つ方の雇用・自立・社会参加の創出に努めます。

■当団体代表企業の労働集約型産業の強みを活かし、定期的な面談や、専用 LINE によるお悩み相談、ハラスメント講習の実施など、労働環境の向上に向けた取り組みを行います。

■当団体代表企業は、北九州 SDGs 登録事業者であり、エコアクション 21 も取得しているため、環境マネジメントに引き続き取り組むとともに、北九州市の施策の実践・推進を心がけ、環境への配慮に積極的に取り組みます。

■当施設は住宅エリアや都心に存在するものではないため、周辺地域の方々や団体などとの協働に積極的に努めます。■現職員の面談を実施し、継続勤務意思の確認ならびに当団体の運営方針との適合性を確認したうえで可能な限り再雇用を検討します。また新規に雇用する場合は、北九州市に在住する方（特に近隣の方）を優先的に採用する等、地元雇用を推進します。

提案額（千円）

7 年度	57,935 千円
8 年度	57,935 千円
9 年度	57,935 千円
10 年度	57,935 千円
11 年度	57,935 千円

※提案概要は、提案書の内容を 2 枚程度（A4）にまとめてください。